

1) 米朝と南北の交差

①米朝関係は進展するか

2009. 1 オバマ政権成立

対北朝鮮政策に進展なし→第2次核実験

中国への朝鮮半島管理委託、北朝鮮関与の棚上げ

2010. 11 米国の知識人招き低濃縮ウラン施設公開、米国へ対話の誘い

2011. 1. 19 米中首脳会談

1. 25 金英春人民武力相がゲーツ国防長官に軍事会談を提案

2. 8~9 南北軍事会談実務協議

2. 23 楊潔篪外相訪韓

3. 1 ボズワース北朝鮮政策特別代表、上院外交委公聴会で証言、米国の目標は
政権交代ではなく変化を促すこと

3. 4 武大偉朝鮮半島事務特別代表、無条件6者協議再開を呼びかけ

3. 15 北朝鮮外務省報道官談話、ウラン濃縮問題議論に反対しない

3~4 北朝鮮の複数の代表団、米国と接触や訪問

4. 7~12 金桂寛第一外務次官訪中、キャンベル国務次官補も7日訪中
南北会談→米朝協議→6者協議の3段階案合意

4. 16 クリントン国務長官訪韓

4. 26~28 カーター元大統領訪朝、金正日国防委員長と会えず、金正日委員
長からはメッセージ、南北首脳会談呼び掛け

4. 26 武大偉代表、魏聖洛朝鮮半島平和交渉本部長と会談、三段階案確認

5. 16~18 ボズワース北朝鮮問題特別代表訪韓、キング訪朝を通告

5. 24~28 キング北朝鮮人権問題担当特使訪朝

②南北関係の打開はあるか

2008. 2 李明博大統領就任

7 金剛山韓国人観光客射殺事件

2010. 3 哨戒艦沈没事件

11 延坪島砲撃事件

繰り返し登場する南北秘密接触、首脳会談説

韓国政府内部の不一致、一貫性のない政策

2011. 2~3 米韓合同軍事演習

2 北側住民31名漂着、3. 27 27名が北へ帰還

3. 17 北、白頭山噴火問題共同研究を南に提案、29日以降協議

5. 9 李明博大統領、北朝鮮が核放棄なら南北首脳会談、謝罪も前提に

5. 30 国防委員会、「李明博政権をこれ以上相手にしない」

韓国政府、農協ハッキングを北朝鮮によるものと発表するなど

2) 北朝鮮と強盛大国

①後継体制の行方

2008. 9 金正日委員長重病説

2009半ばごろから金正恩後継説浮上

2010. 9 朝鮮労働党代表者会、金正恩党中央軍事委員会副委員長に

その他党幹部、世代交代

金正恩ら軍高位人事発令

金正日委員長は2回訪中し中朝友好とみずからの健在ぶりを示す

2011. 4 最高人民会議開催

金正恩副委員長の新たな昇進はなかったが要職で世代交代

5. 20～26 金正日委員長、中国を非公式訪問

胡錦濤主席と会談

経済中心とされるが首脳会談には姜錫柱・金桂寛が同席

②強盛大国と先軍政治の関係についての分析

2012年は故金日成主席生誕100年

「強盛大国の大門を開く」年とされる

軍事・政治大国は達成したので残るは経済大国という論理

昨年から軽工業・農業に力を入れる政策強調

→当面は中国に依存しつつ人民生活を安定させる

米国との平和協定、関係改善を強盛大国の前提とする

ブッシュ政権末期の約束履行を要求

核保有国認定、廃棄の履行を取引材料にして米国との外交交渉へ

まだ米国の優先順位が低く対話に入れず

平和協定実現と経済安定が定着すれば主体思想をもとに先軍の次のステップへ

3) 非核平和に向けて

韓国における脱原発の声

放射能の影響、朝鮮半島にも

日韓市民社会の協力を

民生協力／非核エネルギー